

# 平成25年度 財政状況

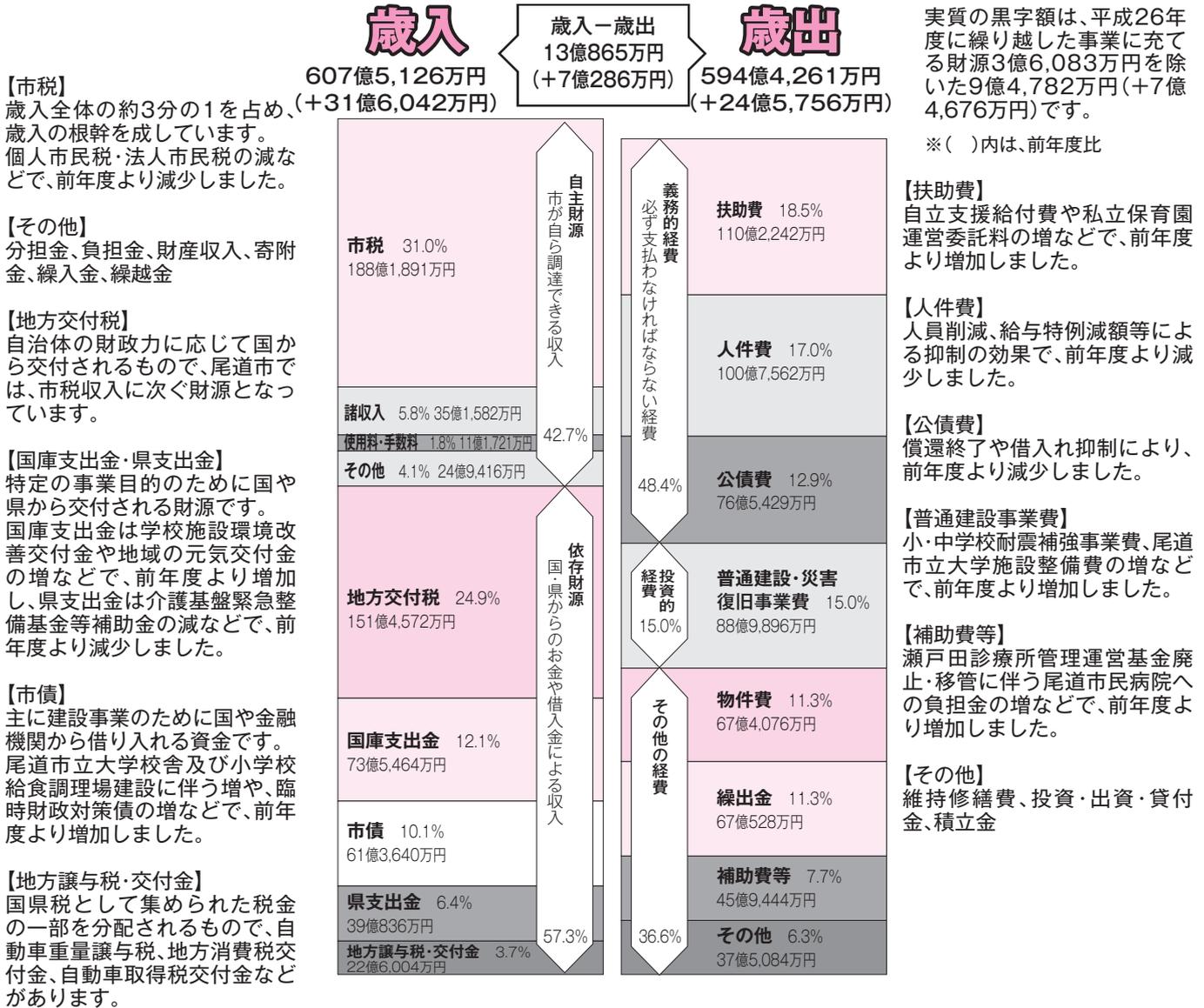
この「財政特集」は、市民の皆さんに「尾道市の家計簿」に相当する財政状況を公表することで尾道市の現状を知っていただき、これからの市政の推進にご理解とご協力をお願いするものです。

前半では平成25年度一般会計・特別会計決算(見込み)を、後半では平成25年度企業会計決算(見込み)をお知らせします。

※各項目の金額・構成比は表示単位未満の端数を四捨五入しているため、合計値に合致しない場合があります。  
 財務課(☎0848-38-9323)

## 一般会計決算(見込み)

福祉や教育、道路整備など市民生活に直接関係する事業を行う会計です。



## 市民の負担とサービスの状況

市民1人当たりの  
市税負担額



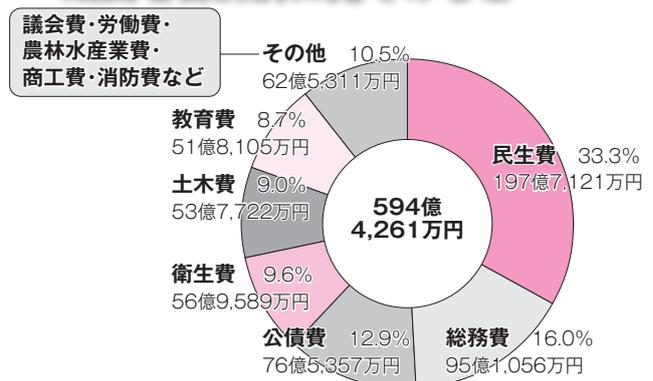
市民1人当たりの  
サービス額



市税のほかに国や県からの補助金などを活用して、行政サービスを実施しました。

※平成26年3月末住民基本台帳人口144,247人で計算

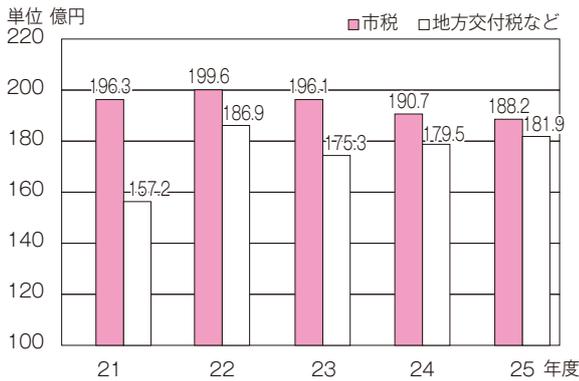
## 歳出を目的別に見てみると...



# 私たちのまち“尾道”の財政状況をくわしく見てみましょう

※普通会計の数値で作成しています。

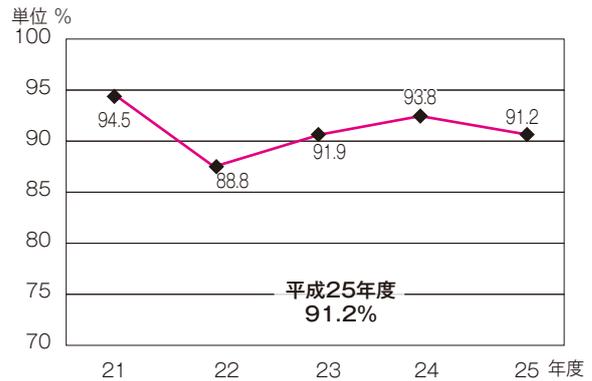
## 市税と地方交付税の推移



平成25年度  
市税 188億1,891万円  
地方交付税など 181億9,282万円

市税収入は減少し、地方交付税など(実質的な地方交付税として臨時財政対策債を加えたもの)は増加しました。

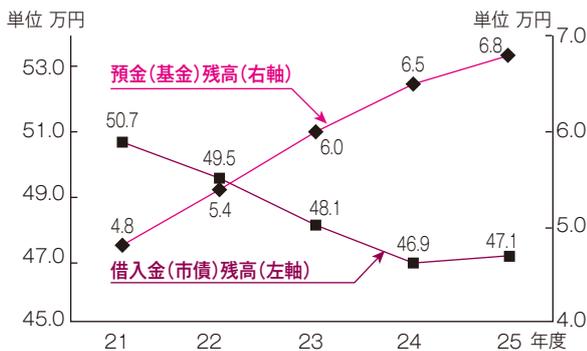
## 経常収支比率の推移



家計でいえば、毎月得られる給料などのうち、食費・光熱水費・ローンの返済など毎月決まって支払う生活費が占める割合のことです。数値が高いほど財政にゆとりがなく硬直化していることを表します。

平成25年度は91.2%となり、前年度より2.6ポイント改善しました。

## 市民1人当たりの預金と借入金

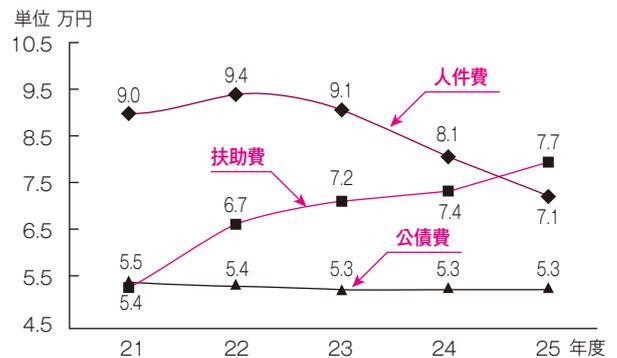


平成25年度末現在  
基金残高 97億4,430万円  
財政調整基金 42億4,696万円  
減債基金 13億5,146万円  
その他特定目的基金 41億4,588万円

平成25年度末現在  
市債残高 679億5,393万円

借入金(市債の発行)を抑制することにより、市債残高は減少しつつある状況です。市民1人当たりの金額に換算すると、平成25年度決算では、人口減少により、前年度比2千円増の47万1千円となっています。一方、預金にあたる基金現在高は、前年度比3千円増の6万8千円となっています。

## 市民1人当たりの義務的経費支出状況



支出の状況について、義務的経費である人件費、扶助費、公債費についてみると、職員人件費や借入金の返済に充てる公債費は減少傾向にありますが、児童手当や自立支援給付費、生活保護費などの扶助費については増加傾向にあり、今後も増加することが見込まれます。

将来に向けて安定した財政運営を行うため、引き続き市税などの自主財源を増やす努力をしながら、義務的経費など経常的に必要な経費の削減に取り組み、ニーズにあった行政サービスを提供できる健全な財政運営を進めていきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

※各年度末住民基本台帳人口を算定基礎としています。

## 用語解説

### 普通会計

他市との財政比較を行うための統計上の会計  
尾道市では、一般会計に港湾事業特別会計、夜間診療所事業特別会計、救護施設事業特別会計を合わせたもの

### 財政調整基金

将来の財政の健全な運営に役立てるために積み立てられる預金

### 減債基金

将来の市債償還に充てるために積み立てられる預金

### 特定目的基金

特定の事業に使うために積み立てられる預金  
尾道市では、地域福祉基金、教育文化基金、土地開発基金など

### 臨時財政対策債

国税収入が減少し、普通交付税を配分する財源が不足した場合、その不足分を補うために発行する市債

### 人件費

職員の給料・手当・共済費や特別職の報酬などの経費

### 扶助費

生活困窮者、児童、高齢者、心身障害者などに対する福祉の経費

### 公債費

長期の借金の返済金や短期(1年以内)の借入金の利子

### 義務的経費

人件費、扶助費、公債費の総称、必ず支出しなければならない経費

## 平成25年度の主な事業

多様な交流の輪が広がるまち  
瀬戸内しまなみ海道サイクリング  
尾道大会～銀輪パラダイス～  
開催負担 600 万円



活力あふれる産業が育つまち  
松ヶ峯市民農園整備事業  
1,030 万円



尾道の持つ感性の豊かさが誇りになるまち  
林芙美子・小津安二郎生誕  
110年記念事業 584 万円



心豊かに育ち、学び高めあうまち

尾道市立大学施設整備費補助  
13 億9,372 万円



新校舎(E棟)

暮らしの安全性と快適性が高いまち

福田たちばな住宅建設事業  
3 億1,249 万円



子育てや長寿を楽しみ、  
誰もが幸せに暮らせるまち

栗原保育園・大慈認定こども園  
整備補助 2 億5,614 万円



大慈認定こども園

### 都市計画事業に要する経費と都市計画税

都市計画税は、都市計画事業(街路、公園、下水道、区画整理など)の費用に充てるため負担していただく税金です。

平成25年度は、街路、下水道などの事業と、都市計画事業のために借り入れた地方債の償還に充てられました。

事業に充当された一般財源に占める都市計画税の割合は、77.3%となっています。

(単位:千円、%)

年度	都市計画 事業費	地方債 償還額	計	充当一般 財源A	うち都市 計画税B	充当率 B/A
23	1,051,062	740,121	1,791,183	1,574,209	1,306,753	83.0
24	1,072,880	742,985	1,815,865	1,600,333	1,236,657	77.3
25	1,051,858	719,635	1,771,493	1,569,177	1,212,233	77.3

## 特別会計決算(見込み)

特定の事業を行い、一般会計と財布を分けることで  
収支をはっきりさせる会計です。

区 分	歳入額	歳出額	差引額
港湾事業	1億9,671万円	1億8,786万円	885万円
国民健康保険事業	181億2,166万円	176億7,040万円	4億5,126万円
千光寺山索道事業	2億7,995万円	2億7,988万円	7万円
駐車場事業	1億4,288万円	1億4,288万円	0円
夜間救急診療所事業	2億1,690万円	2億1,690万円	0円
公共下水道事業	16億7,054万円	16億7,054万円	0円
介護保険事業(保険事業勘定)	155億3,745万円	155億3,241万円	504万円
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	1,576万円	1,525万円	51万円
漁業集落排水事業	1,823万円	1,823万円	0円
救護施設事業	2億2,679万円	2億2,679万円	0円
特定環境保全公共下水道事業	1億8,458万円	1億8,458万円	0円
農業集落排水事業	3,173万円	3,173万円	0円
渡船事業	3,202万円	3,202万円	0円
後期高齢者医療事業	20億5,956万円	20億1,762万円	4,194万円
合 計	387億3,476万円	382億2,709万円	5億767万円

# 企業会計決算(見込み)

事業で得られる収入で支出をまかなう会計です。  
水道・病院の2つの会計があります。

## 水道事業

## ☎水道局庶務課(☎0848-37-8701)

平成25年度の水道事業は、御調西部上水道拡張事業が2期目を迎え、一部供用を開始するなど未普及地域の解消は順調に進捗しています。また、老朽化した谷水・赤上ポンプ場の築造及び耐震管への布設替えを施工し、災害に強く安定した給水を実現する施設整備に努めました。

収益的収支では、給水収益が前年度に引き続いて業務用を中心に大幅に減少したことに加え、受託管理収益の減少などにより、事業収益は、前年度に比べ9,142万2千円の減収となりました。一方、事業費用は、広島県企業局からの受託建設工事減による受託管理費の減少があるものの、退職給与引当金の増加や御調西部上水道拡張事業の進捗による減価償却費の増加などで、

前年度に比べ4,639万9千円の費用増となりましたが、収支差引、8,124万9千円の純利益を計上することができました。

引き続き、損益は黒字を維持しているものの、料金収入の増が期待できない状況にあるため、より一層コスト意識に徹した経営の効率化を図ることで、安全で良質な水の安定供給に努めます。

### 損益計算書 25.4.1~26.3.31 (単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	629,165	水道料金収入	3,486,585
物件費	865,462	受託工事収益	4,099
受水費	1,504,641	受託管理収益	458,100
支払利息	120,124	その他	98,616
その他	845,423	特別利益	59
特別損失	1,395		
当年度純利益	81,249		
合計	4,047,459	合計	4,047,459

### 貸借対照表 26.3.31現在 (単位:千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	25,532,468	固定負債	440,104
無形固定資産	2,571	流動負債	1,024,304
流動資産	3,671,866	自己資本金	11,622,306
繰延勘定	10,278	借入資本金	5,177,858
		資本剰余金	9,588,759
		利益剰余金	1,363,852
		減債積立金	280,000
		建設改良積立金	1,000,000
		当年度未処分利益剰余金	83,852
		繰越利益剰余金	2,603
		当年度純利益	81,249
合計	29,217,183	合計	29,217,183

## 病院事業

## ☎市民病院庶務課(☎0848-47-1155)

市民病院は集中治療室の改修と高性能ICUモニターの導入により、救急医療に対する機能をさらに強化しました。また、高度・多様化する医療需要に対応するため、万能手術台、超音波画像診断装置等の各種医療機器や電子カルテシステムの更新を行い、病院機能の強化と患者サービスの向上に努めました。

瀬戸田診療所では、これまで同様に地域で求められる医療の提供に努めました。

公立みつぎ総合病院は、地域包括ケアシステムの構築により、救急医療及び疾病の治療から地域住民の健康づくり、介護予防、リハビリテーション、在宅ケア、さらに介護・福祉までシームレスなサービス提供をしてきました。主な事業として、平成23年度から3カ年事業の病院増改築工事を完成し、保健福祉総合施設の改修も行いました。また、X線透視撮影装置や手術用

顕微鏡など各種医療機器や検査機器の充実も図りました。

市民病院、公立みつぎ総合病院とも、地域住民の医療ニーズ、介護や保健・福祉ニーズに応えるため、引き続き効率的な運営を図るとともに、健全経営に努め、地域の中核病院としての役割を果たしてまいります。

### 損益計算書 25.4.1~26.3.31 (単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	7,894,371	入院収益	7,580,969
物件費	2,361,178	外来収益	2,910,121
支払利息	111,205	その他医業収益	1,133,607
その他	3,322,785	その他	2,249,115
特別損失	12,072	特別利益	800,774
当年度純利益	972,975		
合計	14,674,586	合計	14,674,586

### 貸借対照表 26.3.31現在 (単位:千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	15,365,467	固定負債	444,591
無形固定資産	1,970	流動負債	1,226,133
投資	11,282	自己資本金	8,399,181
流動資産	6,051,434	借入資本金	5,716,338
繰延勘定	638,467	資本剰余金	2,539,267
		利益剰余金	3,743,110
		減債積立金	194,000
		建設改良積立金	100,000
		利益積立金	90,000
		その他積立金	0
		当年度未処分利益剰余金	3,359,110
		繰越利益剰余金	2,386,135
		当年度純利益	972,975
合計	22,068,620	合計	22,068,620

# 第6次尾道市行財政改革大綱・実施計画を策定

私が変わる、あなたが変わる、そしておのみちの未来が変わる

本市では、尾道市行財政改革推進検討懇談会から提言いただいた意見書に基づき、平成26年度から平成31年度までを計画期間とした、「第6次尾道市行財政改革大綱」及び「実施計画」を策定しました。

今回策定する大綱は、自然の景観に恵まれ、古い歴史をもつ尾道をこよなく愛し、誇りとしながら、先人の偉業をしのびつつ、郷土の発展と健康で明るく住みよいまちづくりを理想と定めた、市民憲章の趣旨を思い、小さい都市でありながら他にはない魅力的な価値をもつまちづくりを進めていくために、取り組むべき事項や方向性を取りまとめたものです。

「私が変わる、あなたが変わる、そしておのみちの未来が変わる」を合言葉に、活力ある地域社会を、地域全体で創出し、ともに未来につなげていく、そのための第6次尾道市行財政改革大綱であると考えています。

## 1. 財政の健全化

### 【主な取組事項】

財政運営見通し等の作成  
口座振替の推進強化  
遊休地等の売却・賃貸の推進  
多様な手法による自主財源の確保  
事務事業の見直し

## 2. 効率的な行政運営

### 【主な取組事項】

機能的・効率的な組織への見直し  
民間活力等の積極的な活用  
定員及び給与水準の適正化  
行政情報化の推進  
公共施設マネジメントの推進

## 3. 市民と行政の新たな関係によるまちづくり

### 【主な取組事項】

協働のまちづくり行動計画の推進  
各種団体の育成、支援  
市民活動や地域活動のリーダー育成  
市職員によるワン・ステップ・アクションの実践  
広報機能の充実強化

## 第5次行財政改革 の成果は 約41億7千万円を節減

本市が平成23年度から平成25年度まで3カ年で進めてきた第5次行財政改革の成果をお知らせします。第5次行財政改革は、「財政の健全化」「効率的な行政運営」「市民と行政の新たな関係によるまちづくり」を基本方針として次のような取り組みを進め、3カ年全体で約41億7千万円の節減効果となりました。

### 1. 財政の健全化

毎年夏の財政運営見通しの作成に加え、使用料・手数料の受益者負担の適正化や遊休地等の積極的な売却・賃貸も行うなど、歳入の確保や、補助金や委託事業の見直しなど全般的な歳出削減も実施し、財政の健全化に努めてきました。

### 2. 効率的な行政運営

病院事業の一体化、尾道大学の独立行政法人化などの機構改革の他、寿楽園の経営移譲、南部清掃事務所瀬戸田分所(瀬戸田汚泥再生処理センター)の民間委託や市営住宅の指定管理者制度の導入など、民間活力の活用についても積極的に進めてきました。

職員関係では、定員適正化計画に基づく職員数の削減や国家公務員の給与水準を基本に、地域の実態に合った給与水準の適正化にも取り組みました。

この他、人材育成や情報化の推進なども合わせ、効率的な行政運営に努めてきました。

### 3. 市民と行政の新たな関係によるまちづくり

「住民自治組織 会長の便利帳」の作成のほか、まちづくりリーダー養成セミナーの開催や市民活動支援事業の実施など、尾道市協働のまちづくり行動計画に基づいた取り組みを行いました。

また、市民に分かりやすい広報紙へのリニューアルや、高速インターネット回線を活用したFMおのみち視聴エリアの拡大など、市民と行政の新たな関係によるまちづくりへの取り組みを行いました。

☎職員課(☎0848-38-9461)